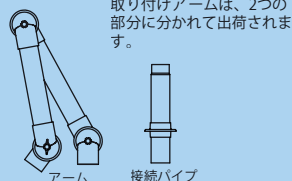




テーブル取付け

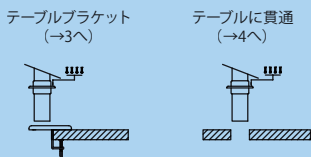
●出荷時

1



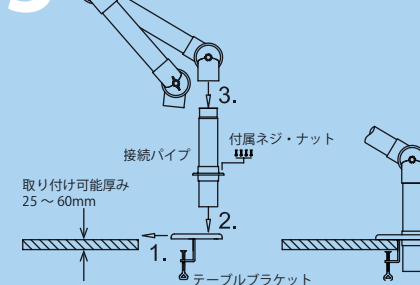
●取付方法の選択

2



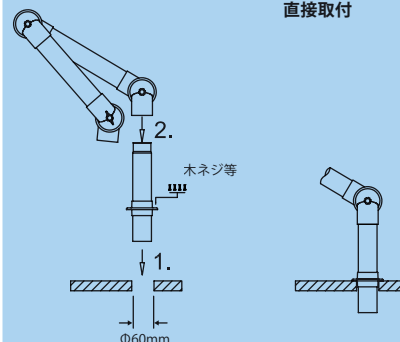
3

●テーブルブラケットを使った取付 SD50-10BB



テーブルブラケットをテーブルの端部に設置してクランプを締め付けます。接続パイプをブラケットの孔に挿入し、付属のネジとナットでフランジをブラケットに固定します。テーブル取り付けアームの関節を接続パイプにはめます。この時、関節内部のスプリングの端を、接続パイプの中に入れてください。

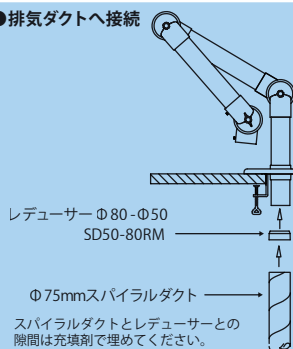
●テーブルに貫通して直接取付



テーブル取り付けアームを設置する場所にΦ60mmの孔をあけてください。接続パイプをその孔に挿入し、添付されているネジでフランジをテーブルに固定してください。テーブル取り付けアームの関節を接続パイプに接続します。この時スプリングの端は、接続パイプの中に入れてください。

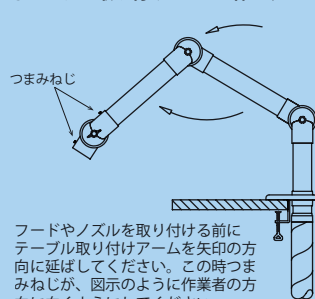
●排気ダクトへ接続

5



●テーブル取り付けアームを伸ばす

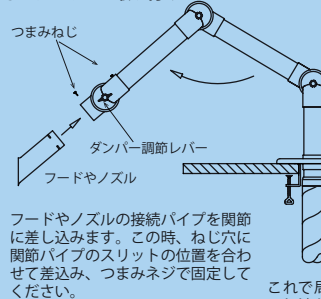
6



フードやノズルを取り付ける前にテーブル取り付けアームを矢印の方向に延ばしてください。この時つまみねじが、図示のように作業者の方向に向くようにしてください。

●アクセサリー取り付け

7



フードやノズルの接続パイプを関節に差し込みます。この時、ねじ穴に関節パイプのスリットの位置を合わせて差し込み、つまみネジで固定してください。

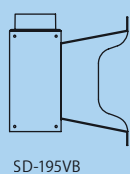
最後にダンパーが開いていることを確認してください。

これで局所排気システムをご使用いただけるようになりました。

壁面取付け

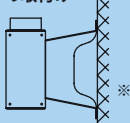
●壁面ブラケット

1



●壁面ブラケットの取付け

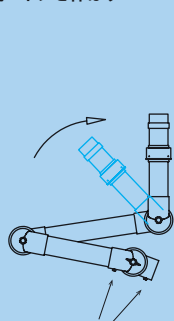
2



壁面ブラケットの取付に際し、アームを動かすことによって壁面ブラケットを介して壁面に大きな力が加わることを考慮してください。壁面ブラケットは壁面にしっかりと固定してください。

●接続パイプを伸ばす

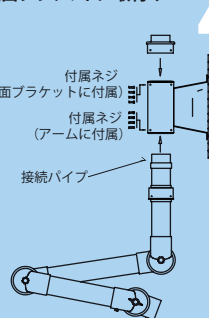
3



接続パイプを開くときには、中にスプリングが入って居ますので、このことを充分注意して矢印のように開けてください。

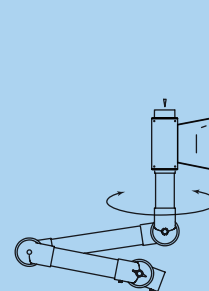
●壁面ブラケットに取付け

4



接続パイプをブラケットの穴に挿入し、同梱のねじでフランジを固定してください。上部フランジを接続パイプに嵌め込み、同梱のネジでブラケットに固定してください。

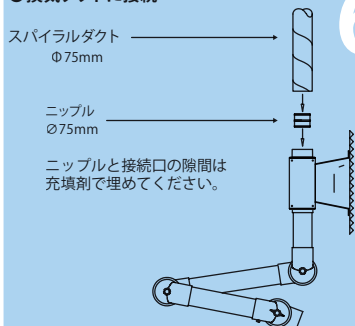
5



壁面ブラケットにより保持されていますが固定はされていません。これにより、壁面ブラケットを中心に190°回転することができます。

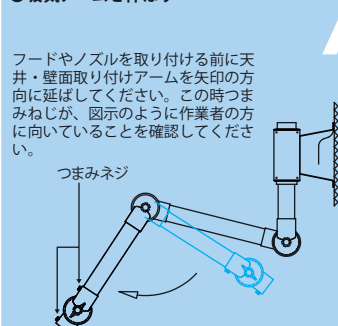
●換気ダクトに接続

6



●吸気アームを伸ばす

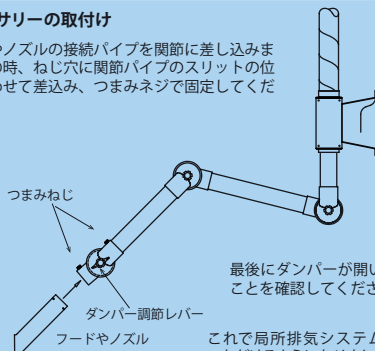
7



フードやノズルを取り付ける前に天井・壁面取り付けアームを矢印の方向に延ばしてください。この時つまみねじが、図示のように作業者の方向に向いていることを確認してください。

●アクセサリーの取付け

8



フードやノズルの接続パイプを関節に差し込みます。この時、ねじ穴に関節パイプのスリットの位置を合わせて差し込み、つまみネジで固定してください。

最後にダンパーが開いていることを確認してください。

これで局所排気システムをご使用いただけるようになりました。

注1) 1システムのダクトや部品を合わせた総重量は、数kgから10数kgになります。ブラケットにはその10倍近い力がかかることがありますので、テーブルや壁にしっかりと固定してください。

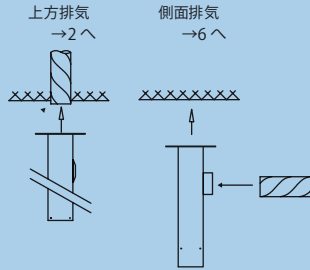
注2) フレキシブルダクト等の伸縮ダクトは使用しないでください。



天井取付け

●天井ブラケット

SD-50/75の天井ブラケットは、長さ250～2500mmまで9種類あります。それぞれに、上面接続のSKSタイプと側面接続のSKタイプがあります。

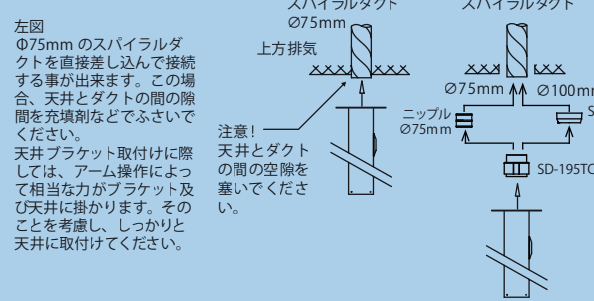


1

天井が、吊り天井など強度が低い場合、スラブに直接取り付けるか、充分な補強を行ってください。

●排気ダクトに接続（上面接続の場合）

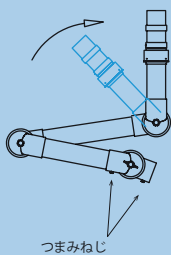
上面接続の場合、左図のようにΦ75mm スパイラルダクトを上方から天井ブラケットに差し込んで取り付ける方法と、右図のように天井ブラケット上面接続口 SD-195TC を用いる方法があります。



2

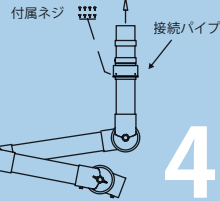
●接続パイプを伸ばす

3



アームを伸ばす時、接続パイプは、矢印の方向に廻してください。この時、つまみネジの位置に注意してください。

●天井ブラケットに取付け

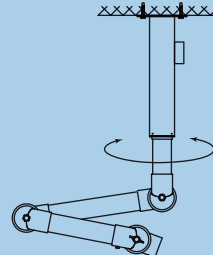


4

接続パイプを天井ブラケットに挿入し、接続パイプのガイドが天井ブラケットに合致するところまでアームを回転させてから付属のネジで固定してください。

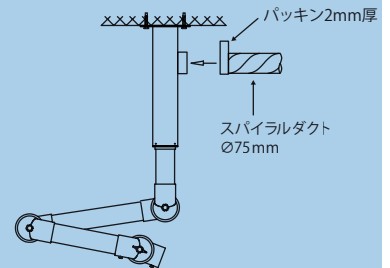
●天井ブラケットに取付け

5



この段階で接続パイプは天井ブラケットを中心に360°回転できます。

●排気ダクトに接続（側面接続天井ブラケット）

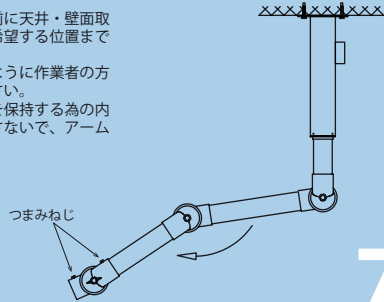


6

Φ75mm のスパイラルダクトとの隙間は、スパイラルダクト先端部分に2mm厚、幅35mm程度の充填材を貼るか、充填剤で埋めて下さい。

●天井・壁面取り付けアームを伸ばす

フードやノズルを取り付ける前に天井・壁面取り付けアームを矢印の方向に希望する位置まで伸ばしてください。この時、つまみネジが図示のように作業者の方向になる方向に伸ばしてください。逆の方向にした場合、形状を保持する為の内部のスプリングが効果を果たさないで、アームが下がってきてしまいます。

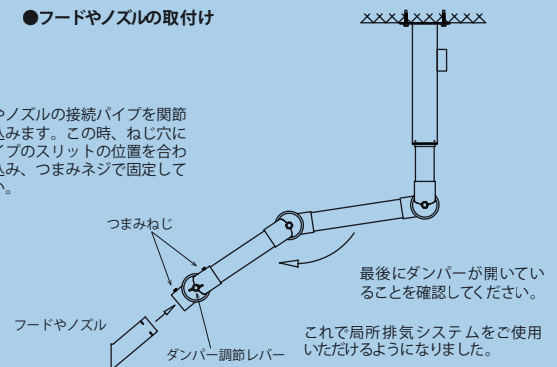


7

●フードやノズルの取付け

8

フードやノズルの接続パイプを関節に差し込みます。この時、ねじ穴に関節パイプのスリットの位置を合わせて差し込み、つまみネジで固定してください。

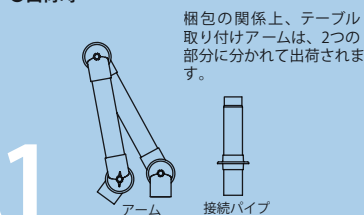


注1) 1システムのダクトや部品を合わせた総重量は、数kgから10数kgになります。ブラケットにはその10倍近い力がかかることがありますので、テーブルや壁にしっかりと固定してください。
注2) フレキシブルダクト等の伸縮ダクトは使用しないでください。

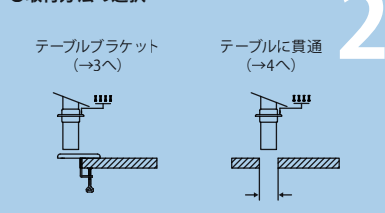


テーブル取付け

●出荷時

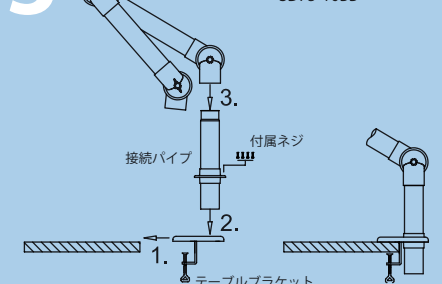


●取付方法の選択



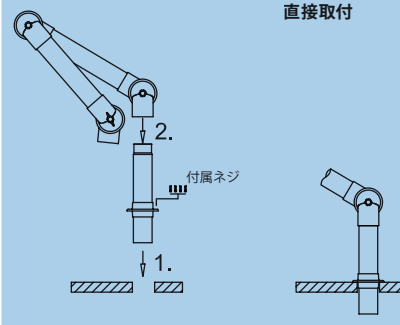
3

●テーブルブラケットを使った取付 SD75-10BB



テーブルブラケットをテーブルの端部に設置してクランプを締め付けます。接続パイプをブラケットの孔に挿入し、付属のネジでフランジをブラケットに固定します。テーブル取り付けアームの関節を接続パイプにはめ込みます。この時、スプリングの端を、接続パイプの中に入れてください。

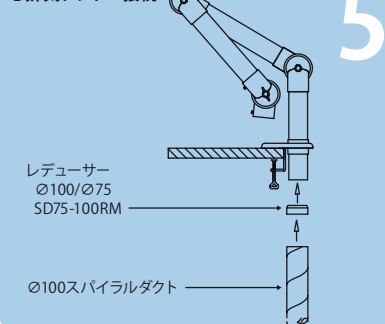
●テーブルに貫通して 直接取付



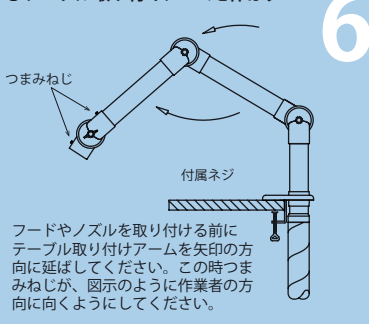
4

テーブル取り付けアームを設置する場所に85mmの孔をあけてください。接続パイプをその孔に挿入し、添付されているネジでフランジをテーブルに固定してください。テーブル取り付けアームの関節を接続パイプに接続します。この時スプリングの端は、接続パイプの中へ入れてください。

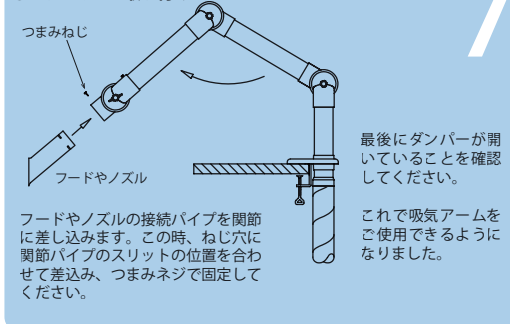
●排気ダクトへ接続



●テーブル取り付けアームを伸ばす

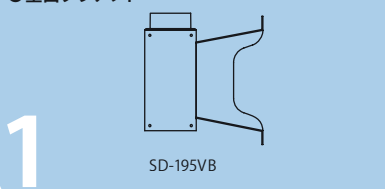


●アクセサリ取り付け

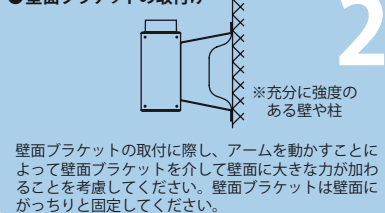


壁面取付け

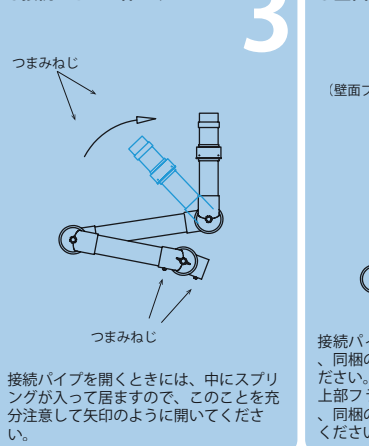
●壁面ブラケット



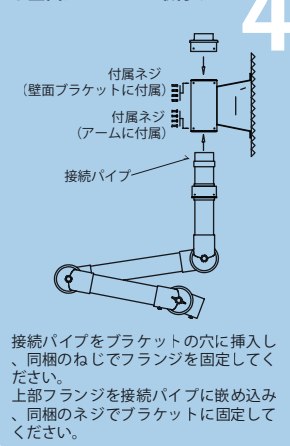
●壁面ブラケットの取付け



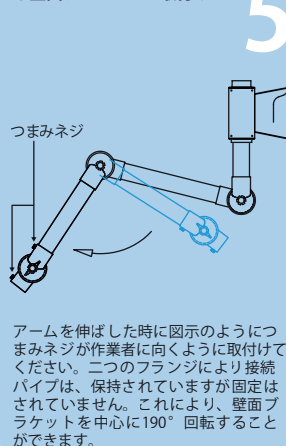
●接続パイプを伸ばす



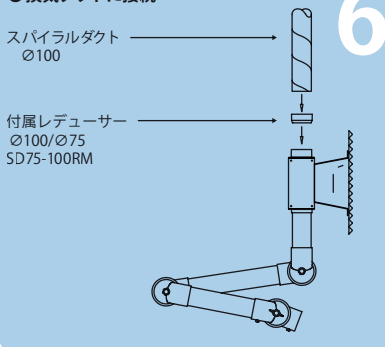
●壁面ブラケットに取付け



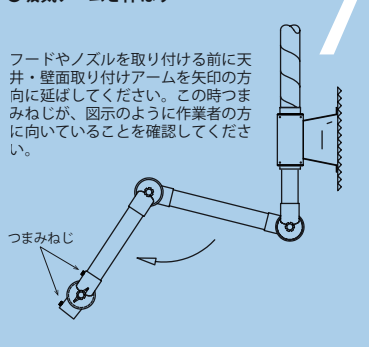
●壁面ブラケットに取付け



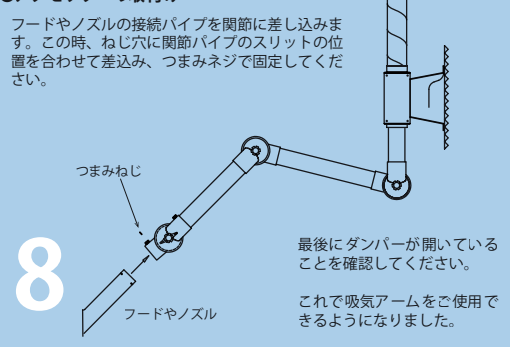
●換気ダクトに接続



●吸気アームを伸ばす



●アクセサリの取付け



注1) 1システムのダクトや部品を合わせた総重量は、数kgから10数kgになります。ブラケットにはその10倍近い力がかかることがありますので、テーブルや壁にしっかりと固定してください。

注2) フレキシブルダクト等の伸縮ダクトは使用しないでください。

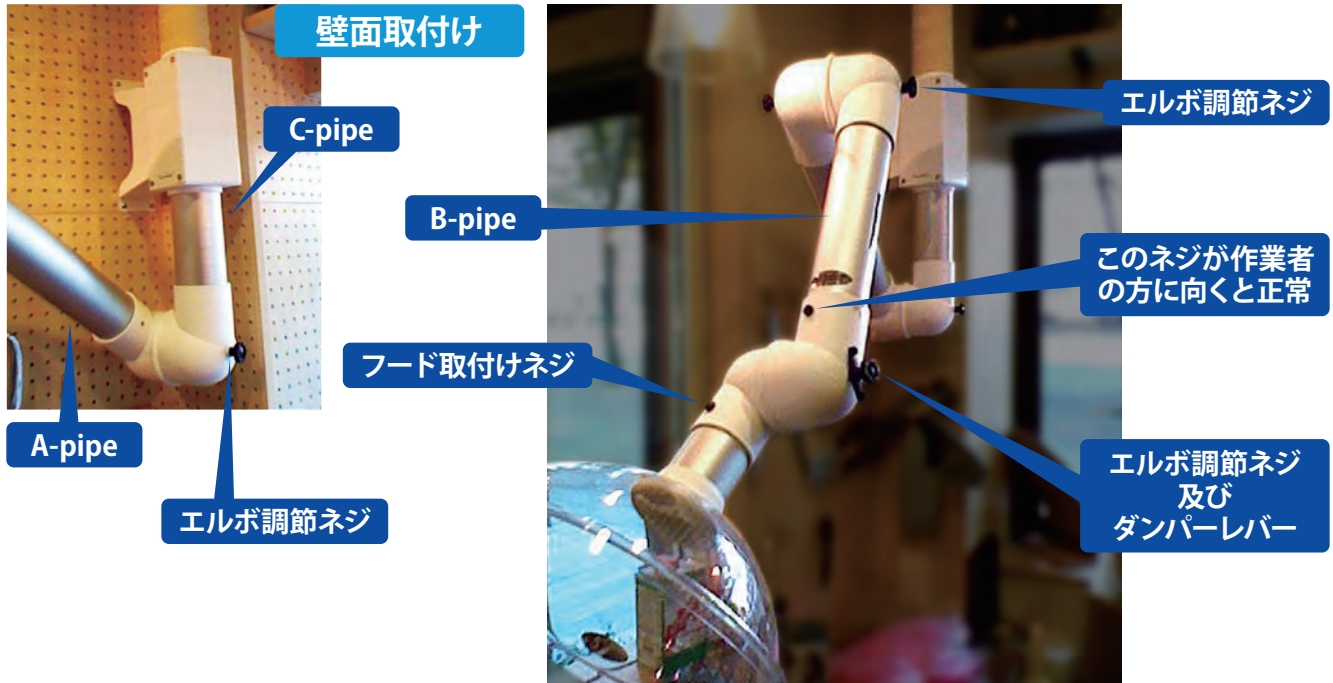


日本フロア株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-5-13
tel 03-3251-3511 fax 03-3251-3507



取付けの際のポイント



- 取付に際し、アームを下ろす方向にご注意ください。
※ダンパーレバーが正面から見て右側になる様に設置してください。(またはA-pipeが左、C-pipeが右になるように)
- アーム位置の調節はエルボ調節ネジを締めて(ゆるめて)行ってください。
- 分解組立は、フード取付ネジ、エルボ調節ネジをゆるめて行ってください。
- 透明フードはフード内側より付属のパイプを通してください。
- 風量は必要に応じ、ダンパーレバーで調整してください。
- アーム取り付け後、ガスをスプリングの取付がしにくいときは、アームをブラケットからいったん取り外して行ってください。*
- ガスをスプリングは、大きな力が掛かりますので取り外し時などは、十分注意してください。*
(※ガスをスプリング付きの機種のみ)
- 出張修理は行っておりません。修理、補修につきましては弊社技術センターにお送りいただき、お見積もりさせていただきます。
弊社、または販売店にお尋ねください。
- 関節部のリングやガスをスプリングは消耗品です。定期的に点検し、必要場合は交換をしてください。
- フレキシブルダクト等の伸縮ダクトは使用しないでください。

